

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 城陽市立久津川小学校 】

1 実践テーマ	【I・III・V】
2 実施対象者	城陽市立久津川小学校 全17学級 321名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間・学級活動等）
4 目標 (ねらい)	・オリンピック・パラリンピックに関する掲示物を通して、その意義や歴史について知り、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高める。
5 取組内容	・オリンピック・パラリンピックに関する資料の掲示 オリンピック・パラリンピックに関わる資料を児童昇降口の掲示板に掲示することを通して児童・保護者・地域の関心を高める。 
6 主な成果	・児童昇降口の掲示板を活用したことで、児童・保護者・地域の方に広く見ていただくことができ、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高めることができた。 ・パラリンピックの選手の話などを紹介することで、障がい者理解につなげることができた。 ・スポーツへの関心が高まり、技術向上への啓発となった。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	・タイムリーな話題の掲示に務めた。 ・児童が理解しやすいように写真を多く取り入れた。
8 主な課題等	・掲示だけではなく、様々な体験も取り入れていきたい。
9 来年度以降の実施予定	・2021年の開催後も、継続して様々な情報を掲示していきたい。



令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

都道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 城陽市立久津川小学校 】

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	城陽市立久津川小学校 17学級 321名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名(総合的な学習の時間・学級活動等)
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・パラアスリートとの出会いの中で、パラリンピックスポーツへの関心を高める。 ・東京パラリンピック馬術に出場した稲葉 将さんから話を聞くことで、様々なことを学ぶ。
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日本財団パラリンピックサポートセンター 講師：稲葉 将（東京パラリンピック馬術出場） 〇6年生への講演会 (ビデオ会議システムを使って実施) <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・パラアスリートとの出会いの中で、パラリンピックスポーツへの関心を高めることができた。 ・東京パラリンピックに出場した方からの話を聞くことで、「障がいのある人が工夫を重ねて競う姿を見て欲しい」「できること・できないことではなく、常にどうしたらできるかを考えチャレンジしてほしい」等を学び、子どもたちが明日からチャレンジすることを考え、一人一人宣言することができた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ会議システムを活用した。 (機材は本校ICT機材を活用した)

8 主な課題等	• 日本財団パラリンピックサポートセンターとの日程調整等、事務的な手続きが大変だった。
9 来年度以降の実施予定	• 児童のオリンピック・パラリンピックやスポーツ等への関心を高める上で、講師から直接話をしてもらうことは大変効果的であり、今後も何らかの形で続けていければと考えます。